

科目名	精神看護学演習ⅡA Psychiatric and Mental Health Nursing Seminar ⅡA		担当教員 (研究室番号)	木戸 芳史 (402)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	1年次 後期	科目 区分	専門科目		選択 区分	領域 必修	単位数 (時間)	3(45)	授業 形態	演習	科目等 履修生	否
科目 目的	精神保健看護の場における様々な問題をアセスメントし、理論および研究成果を活用して、問題解決の方向性を提示する。また、関心領域におけるフィールドワークを通して、自らの研究課題および研究方法を計画、洗練する。											
到達 目標	1) 精神保健看護の場における問題を抽出することができる。 2) 精神保健看護における問題解決のために、理論および研究成果を活用することができる。 3) 精神保健看護における問題解決の方向性を提示することができる。											
成績評価方法 (基準)	①レポート (30%) ②演習内容及びディスカッションへの参加 (70%)											
教科書	随時紹介する。											
参考書等	随時紹介する。											
受講者への メッセージ	積極的にディスカッションに参加してください。											
備考												
回	学習項目				学習内容				主担当 教員	授業 方法		
1回	オリエンテーション				・授業目標、授業日程、学習課題を確認する。 ・ディスカッションを通して自らの関心領域を考える。 ・フィールドワークの計画の立案方法を確認する。				木戸	演習		
2回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・関心領域を特定し、適切なフィールドワークの場を考える。 ・フィールドでの参加観察の方法について学ぶ。				木戸	演習		
3回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・フィールドワークの計画を立案する。				木戸	演習		
4回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・フィールドワークの計画を立案する。				木戸	演習		
5回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・精神保健看護の場（フィールド）で参加観察を行い、個人および集団が抱える問題を特定し、理論および研究成果（エビデンス）を用いて状況の分析を行う。				木戸	演習		
6回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・精神保健看護の場（フィールド）で参加観察を行い、個人および集団が抱える問題を特定し、理論および研究成果（エビデンス）を用いて状況の分析を行う。				木戸	演習		
7回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・精神保健看護の場（フィールド）で参加観察を行い、個人および集団が抱える問題を特定し、理論および研究成果（エビデンス）を用いて状況の分析を行う。				木戸	演習		
8回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・精神保健看護の場（フィールド）で参加観察を行い、個人および集団が抱える問題を特定し、理論および研究成果（エビデンス）を用いて状況の分析を行う。				木戸	演習		
9回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・精神保健看護の場（フィールド）で参加観察を行い、個人および集団が抱える問題を特定し、理論および研究成果（エビデンス）を用いて状況の分析を行う。				木戸	演習		
10回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・精神保健看護の場（フィールド）で参加観察を行い、個人および集団が抱える問題を特定し、理論および研究成果（エビデンス）を用いて状況の分析を行う。				木戸	演習		
11回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・対象とする問題に適した援助方法を、理論および研究成果（エビデンス）を活用し、スーパーバイズを受けながら計画する。				木戸	演習		
12回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・対象とする問題に適した援助方法を、理論および研究成果（エビデンス）を活用し、スーパーバイズを受けながら計画する。				木戸	演習		
13回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・対象とする問題に適した援助方法を、理論および研究成果（エビデンス）を活用し、スーパーバイズを受けながら計画する。				木戸	演習		
14回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・対象とする問題に適した援助方法を、理論および研究成果（エビデンス）を活用し、スーパーバイズを受けながら計画する。				木戸	演習		
15回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・対象とする問題に対して、計画に基づき可能な範囲で実施し、理論および研究成果（エビデンス）に基づいて評価する。				木戸	演習		
16回	精神保健看護の場でのフィールドワーク				・対象とする問題に対して、計画に基づき可能な範囲で実施し、理論および研究成果（エビデンス）に基づいて評価する。				木戸	演習		

回	学習項目	学習内容	主担当 教員	授業 方法
17回	精神保健看護の場でのフィールドワーク	・対象とする問題に対して、計画に基づき可能な範囲で実施し、理論および研究成果（エビデンス）に基づいて評価する。	木戸	演習
18回	精神保健看護の場でのフィールドワーク	・対象とする問題に対して、計画に基づき可能な範囲で実施し、理論および研究成果（エビデンス）に基づいて評価する。	木戸	演習
19回	精神保健看護の場でのフィールドワーク	・対象とする問題に対して、計画に基づき可能な範囲で実施し、理論および研究成果（エビデンス）に基づいて評価する。	木戸	演習
20回	精神保健看護の場でのフィールドワーク	・対象とする問題に対して、計画に基づき可能な範囲で実施し、理論および研究成果（エビデンス）に基づいて評価する。	木戸	演習
21回	精神保健看護の場でのフィールドワーク	・評価指標に基づき、フィールドワークの成果を評価し、発表する。 ・ディスカッションを通して、自らの研究課題を明確にする。	木戸	演習
22回	精神保健看護の場でのフィールドワーク	・評価指標に基づき、フィールドワークの成果を評価し、発表する。 ・ディスカッションを通して、自らの研究課題を明確にする。	木戸	演習
23回	まとめ	・科目を通した学びを発表し、到達目標に対する自己評価を行う。 ・今後の自らの課題について、ディスカッションする。	木戸	演習